

H28取組内容及びH29取組予定

H28取組内容 (ハード対策)

○名張川(三重県 名張市)の河道掘削(樹木伐採)を実施

課題対応 **S**

【平成28年度:近畿地整】

名張川改修事業の取組として、名張市薦生地区の河道掘削(樹木伐採)を実施。流下能力不足を解消していくとともに、上流3ダムの治水効果を最大限発揮できるようにしていく。

工事実施概要

実施箇所：三重県名張市 薦生地区

実施内容：河道掘削(樹木伐採)



危機管理型ハード対策(天端保護)を実施

○木津川、服部川、柘植川の天端保護を実施

課題対応 **T**

【平成28年度:近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、伊賀市長田地区等の堤防で危機管理型ハード対策(天端保護)を実施。
堤防天端をアスファルトで保護し、越水等が発生した場合でも、堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばす。

工事実施概要

実施箇所：三重県伊賀市 長田地区等
実施内容：天端保護

凡例
平成28年度実施 ■
平成29年度以降実施予定 ■

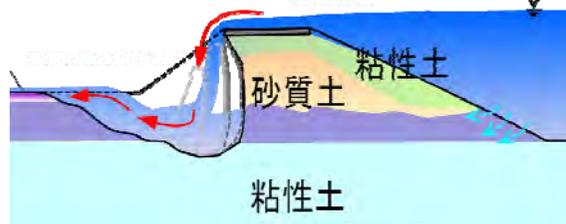
岩倉峡

実施箇所 (木津川右岸57.6k付近)

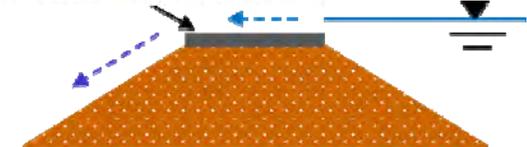


危機管理型ハード対策

越水等が発生した場合でも、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、アスファルト等で天端を保護する等、堤防構造を工夫



アスファルト等で保護



○老朽化が著しい砂防施設(御杖村、曾爾村、伊賀市)の補修対策を実施

【平成28年度:近畿地整】

摩耗・ひび割れが激しいコンクリート構造物の補修対策や周辺の斜面对策を実施することにより、砂防施設の長寿命化を図った。

工事実施概要

実施箇所：御杖村、曾爾村、伊賀市
実施内容：砂防堰堤補修、谷止工補修、斜面对策等

位置図



H28取組内容 (ソフト対策)

○避難勧告に着目したタイムラインの策定

課題対応 **C**

【平成28年度：名張市、宇陀市、伊賀市、南山城村】

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目した**タイムライン**(防災行動計画)(案)

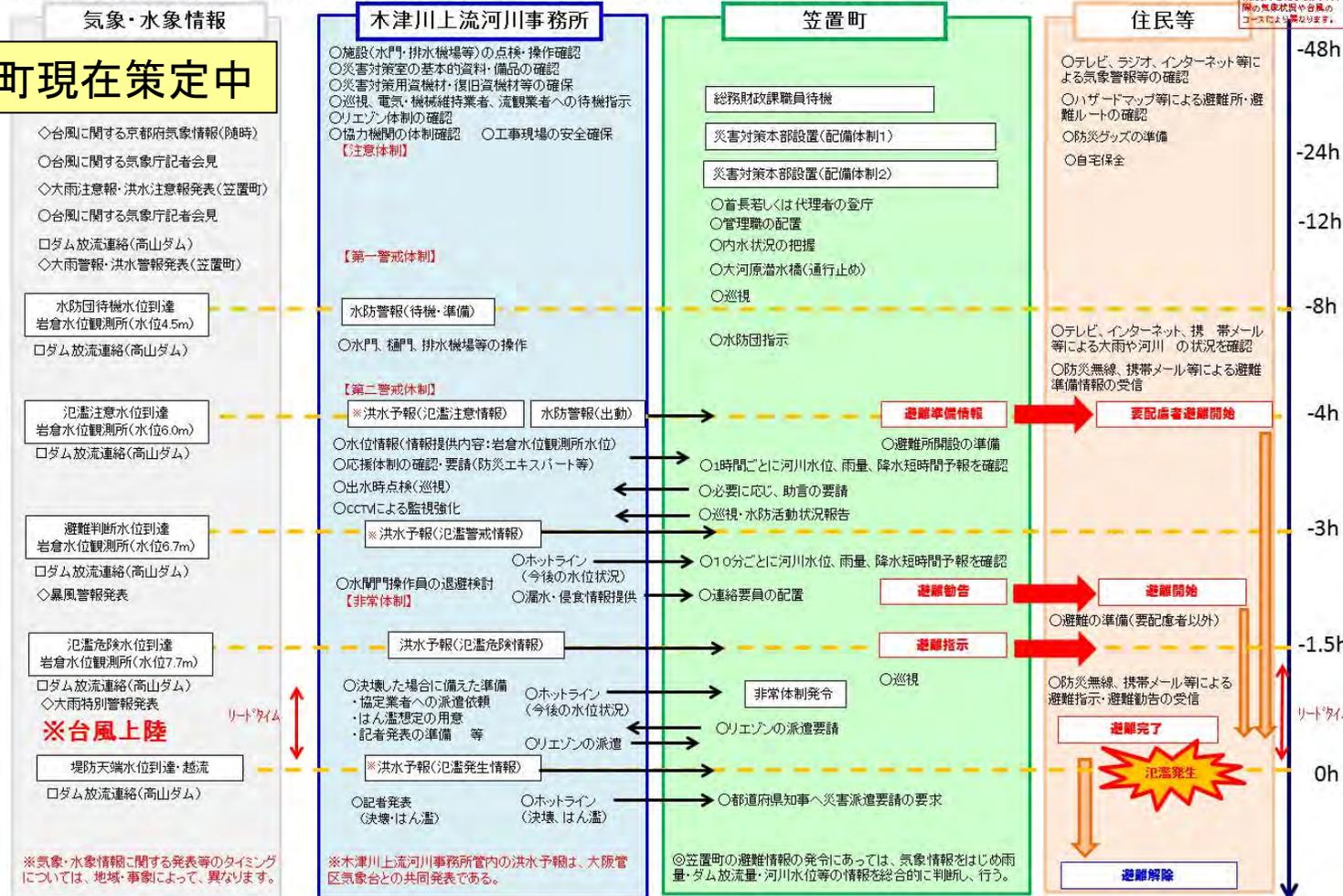
H28.12.15 笠置町

淀川水系木津川上流【笠置町】木津川上流河川事務所

※本タイムラインは木津川上流洪水予報区間の笠置町の区間(木津川:37.2k~41.0k付近)を対象としています。
 ※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)(内閣府:平成26年4月)を参考に作成。また、都道府県からの情報もあるが、割愛している。

※避難勧告については、平成25年台風18号発生時の実績により想定しており、実際の気象状況や台風のコースにより異なります。

※笠置町現在策定中



○河川情報(河川映像・水位状況)の放映を開始しました。

課題対応



【平成28年度:奈良県】

リアルタイムの河川情報(河川映像・水位状況)を駅で発信し、利用者のその後の避難行動のきっかけとなることを目的としています。

対象水位局の水位が警戒水位(はん濫注意水位)を超えると、通常放映枠から自動的に河川情報に切り替わり、放映が開始されます。(放映時間は、各ページ10秒間)

近鉄奈良駅



表示イメージ

河川情報配信

奈良県内の河川情報をお知らせします

詳細は奈良県河川課ホームページをご覧ください

奈良県河川課 検索





電田川生駒市巻分
2016年9月6日17時10分
現在の水位: 2.1m
警戒水位: 1.8m



大和川天理市庵治
2016年9月6日17時10分
現在の水位: 0.6m
警戒水位: 2.3m



富雄川斑鳩町高安西
2016年9月6日17時10分
現在の水位: 0.5m
警戒水位: 2.1m

<画面サイズ>
60インチ(タテ)×8台
(横75cm-縦130cm)

放映枠①		放映枠②		放映枠③	
佐保川	法蓮	電田川	一分	紀の川	上市
秋篠川	秋篠	富雄川	高安	宇陀川	萩原
地藏院川	下三橋	大和川	庵治	寺川	桑庄

JR王寺駅



表示イメージ

河川情報配信

奈良県内の河川情報をお知らせします

詳細は奈良県河川課ホームページをご覧ください

奈良県河川課 検索





葛下川香芝市瓦口
2016年9月6日17時10分
現在の水位: 1.5m
警戒水位: 1.1m



大和川天理市庵治
2016年9月29日20時50分
現在の水位: 1.0m
警戒水位: 2.3m



高田川大和高田市磐築橋
2016年9月29日20時50分
現在の水位: 2.2m
警戒水位: 2.6m



葛城川橿原市曲川
2016年9月29日20時50分
現在の水位: 1.6m
警戒水位: 2.4m

<画面サイズ>
60インチ3面(ヨコ)
(横225cm-縦130cm)

放映枠①		放映枠②	
葛下川	瓦口	飛鳥川	今井
高田川	磐築橋	曾我川	西但馬
葛城川	曲川	紀の川	下瀬
大和川	庵治	丹生川	城戸

○豪雨等災害情報の提供等に関する協定を締結

課題対応



【平成28年度】名張市、南山城村、笠置町、水機構

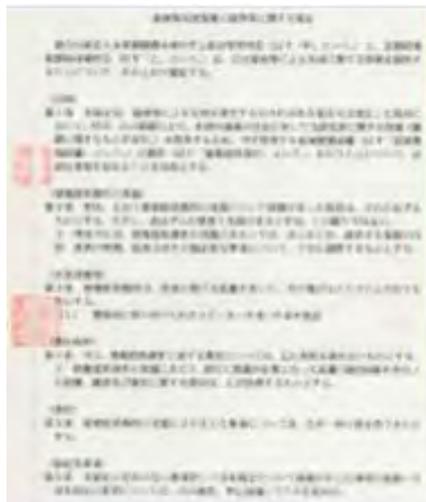
木津川ダム総合管理所において、**ダム周辺地域と防災時の連携を強化するために豪雨等災害情報の提供等に関する協定（南山城村・笠置町・名張市）**を締結し有効活用。

豪雨等による災害が発生するおそれがある場合又は発生した場合において、水機構が管理する放流警報設備を利用して、警報局のスピーカーを用いた音声放送による情報提供ができる体制を構築している。

【豪雨等災害情報の提供等に関する協定：協定締結地区】

南山城村・笠置町（高山ダム）

名張市（青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム）



南山城村との協定書

南山城村の避難準備放送訓練状況
(平成28年9月1日)ダム警報局スピーカー設備
(名張市 大屋戸局)

○ホームページによる「減災対策協議会」の広報を実施

課題対応

J

【平成28年度～：宇陀市、近畿地整】

木津川上流河川事務所のHPにて、減災対策協議会専用ページを作成し、減災対策協議会資料の掲載及び「水防災意識社会」再構築に関連する資料等（減災対策の取組状況）を掲載。

木津川上流河川事務所HP



木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会

～地形的特性から懸念される水害・土砂災害の複合災害を
対象とした減災対策に関する取組を推進～

山間部と河川に挟まれた狭隘部

水防災意識社会再構築
に関連する資料等を掲載

木津川上流域では、
地域住民の安全安心
市、笠置町、南山城
「木津川上流部大規
「逃す・防ぐ・回復

木津川上流の「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 概要(168KB)
- 規約(H28.6.1) (61KB)
- 構成員名簿 (H28.6.1) (21KB)
- 取組方針(222KB)

木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会 (配付資料)

- H28.6.01 第1回
- H28.7.26 第2回

減災対策の取組状況(平成28年度)

宇陀市HPにおいても、取組状況の掲載がされています
<https://www.city.uda.nara.jp/kikikanri/gensaiwarkshop.html>

○ホームページによる「減災対策協議会」の取組内容の広報を実施

課題対応

J

【平成28年度～：宇陀市】

宇陀市のHPにて、地域住民と合同による減災ワークショップ（住民主体による「防災マップづくり」と「大型台風を想定したタイムラインづくり」）の実施内容（減災対策の取組）を掲載。

宇陀市HP



ホーム > くらし・環境 > 防災・安心情報 > 自主防災活動 > 減災ワークショップの開催

更新日：2017年1月10日

減災ワークショップの開催

猿橋山麓地区において「災害時に被害者を出さない地域づくり」を目的に本津川上流河川事務所と共同で「減災ワークショップ」を開催しましたので、ご紹介させていただきます。

住民主体で水害と土砂災害の複合災害を想定

平成28年11月27日と12月18日の2回にわたりワークショップを行いました。1回目は、「土砂災害から身を守る」の講義を受講、また、「まち歩き防災マップづくり」の事前説明を受講後、危険箇所等の点検を行い、防災マップづくりに着手しました。2回目は、「防災マップづくり」と「大型台風を想定したタイムラインづくり」を行いました。

防災マップづくりとタイムラインの作成

猿橋山麓地区（山麓自主防災組織（奥谷会長））の今年度の防災活動の目玉は、地域の特性や想定される災害を知ること、災害時に被害者を出さないための「タイムライン」により各々が避難行動を正しく認識することでした。

「自分たちの命を守る。まちを守る」地域のみなさんが主体となり、話し合いながら、良いものが作成できたのではないのでしょうか。

ワークショップの様子



○防災訓練に合わせパネルや災害対策資材・機械を展示の広報を実施

課題対応

J

【平成28年度：名張市、近畿地整】

名張川河川防災ステーション完成後10年を記念して、名張川河川防災ステーションの役割を知って頂くとともに、洪水に対する名張市民の意識啓発を目的として、名張市防災訓練に合わせてパネルや災害対策資材・機械を展示いたしました。

開催日時：平成28年11月19日（土）

開催場所：鴻之台公園、箕曲小学校



名張市民の防災意識啓発を目的としたパネル展示



本部車、照明車及び防災パネルの展示等を行いました。



○洪水時に対しリスクが高い区間の「共同点検」を実施

課題対応

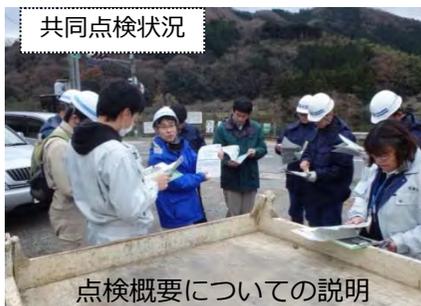


【平成28年度：笠置町、水機構、近畿地整】

洪水に対してリスクが高い区間（流下能力が低い区間や被災時に多大な被害が起こりえる区間など）で堤内地の家屋の高さや過去の被災状況等を確認しながら笠置町、木津川ダム総合管理所、木津川上流河川事務所で“共同点検”を実施。

共同点検実施概要

対象河川：淀川水系木津川（笠置町区間）
 点検日：平成28年12月15日（木）
 参加者：笠置町
 水資源機構木津川ダム総合管理所
 木津川上流河川事務所



共同点検における情報共有

- 今回の共同点検にて過去の出水でどこまで水位が上昇したかについて“お互いに”共有することができた。
- タイムラインに基づく情報提供や簡易水位計の水位情報を提供していくことを確認した。
- 水害、土砂災害による複合災害に対し、避難所が浸水エリア及び土砂警戒区域内にあるなど、“現状の課題”について“共通認識”を持つことができた。



過去の洪水時にどの程度の水位上昇が起こったかを含めて現地を確認。



○名張市防災行政無線を活用した防災操作状況等の情報伝達

課題対応 

【平成28年度】名張市，水機構

木津川ダム総合管理所において、災害時における、名張市上流3ダムの防災操作・被災状況等について、**名張市防災行政無線を活用した情報伝達**を実施することを目的として、名張市総合防災訓練に参加するとともに、実践的な情報伝達の訓練を実施している。

【実施地区】

名張市 名張市上流3ダム（青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム）

名張市防災行政無線
(木津川ダム総合管理所設置)名張市総合防災訓練（情報伝達訓練）状況
(平成28年11月19日)

○伊賀市と国交省の合同による災害対策用機械操作訓練を開催

課題対応



【平成28年度：伊賀市、近畿地整】

出水期を迎えるにあたり、実際の浸水現場等での確な運用ができるよう伊賀市と国交省合同による排水ポンプ車等の災害対策用機械の操作訓練を実施。

訓練実施概要

実施場所：小田排水機場

訓練日：平成28年6月6日（月）

参加者：

- | | |
|-------------|-----|
| ・伊賀市 | 11名 |
| ・伊賀市操作委託者 | 6名 |
| ・国土交通省職員等 | 20名 |
| ・国土交通省操作委託者 | 10名 |

訓練内容

- ・排水ポンプ車の構造・排水方法説明及びホース接続等設置操作
- ・照明車の構造及び操作・点灯に至る一連の操作
- ・対策本部車の構造・設置操作
- ・衛星通信機器の設営・通信訓練

訓練状況



排水ポンプ車説明



国交省対策本部車



伊賀市排水ポンプ車 実排水運転状況



衛星通信機器 操作訓練

○地域防災窓口の設置による災害時の地域支援体制を構築

課題対応 (R)

【平成28年度】名張市、宇陀市、南山城村、笠置町、水機構

木津川ダム総合管理所において、施設所在市町村等の地域支援として、防災面での連携強化を図るための「地域防災連携窓口」を設置。

災害時における、資材や排水ポンプ車、可搬式浄水装置の貸与等の地域支援体制を構築している。

また、平成28年度は、可搬式浄水装置の運転訓練を行った。

【窓口設置施設】

木津川ダム総合管理所（青蓮寺ダム・比奈知ダム）

高山ダム管理所・室生ダム管理所・布目ダム管理所

窓口設置事務所	責任者(役職)	電話番号
木津川ダム総合管理所 (青蓮寺ダム・比奈知ダム)	副所長(技術)	0595-64-8961
高山ダム管理所	管理所長	0743-94-0201
室生ダム管理所	管理所長	0745-92-2320
布目ダム管理所	管理所長	0742-94-0231

地域防連携窓口一覧



玄関に設置した地域防災連携窓口ポスター

可搬式浄水装置の運転訓練状況
(平成28年9月1日)

○水害と土砂災害の複合災害を想定した防災マップ・タイムラインを作成

課題対応 **X**

【平成28年度：宇陀市、奈良県、近畿地整】

地域住民、宇陀市と合同による減災ワークショップを開催し、台風等による洪水と土砂災害に備え、住民主体による「防災マップづくり」と「大型台風を想定したタイムラインづくり」を実施。水害と土砂災害の複合災害を想定した住民主体によるタイムライン作成は当事務所管内では初めての取り組み。

減災ワークショップ実施概要

対象地域：奈良県宇陀市榛原山路地区
 点検日：平成28年11月27日（日）
 平成28年12月18日（日）
 平成29年 3月20日（月）
 参加者：宇陀市
 宇陀市榛原山路地区(住民)
 木津川上流河川事務所

議論の状況



現状の確認、想定される被害、実施すべき事項について、活発な議論を展開。

まち歩き点検の状況



まち歩き点検により自然災害に対するリスクや強みを把握。

防災マップによる危険箇所等の確認



防災マップを作成しながら危険箇所（リスク）等を確認。



検討結果を整理してタイムラインを完成

H29取組予定

目標を達成するための取組項目（H29～）

項目	H29取組機関
【水災害】	
1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み	国、府県、水機構、市町村 (伊賀市・名張市・津市・宇陀市・御杖村・南山城村・三重県・奈良県・京都府)
2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取り組み	国、府県、水機構、市町村 (伊賀市・名張市・津市・宇陀市・南山城村・奈良県・京都府)
3. 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取り組み	国、水機構、市町村 (伊賀市・名張市・津市・宇陀市・御杖村・南山城村・京都府)
【土砂災害】	
1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み	府県、市町村 (伊賀市・名張市・津市・宇陀市・御杖村・南山城村・三重県・奈良県・京都府)
2. 土砂による被害の軽減、避難時間の確保のための防災活動の取り組み	国、府、市町村 (伊賀市・名張市・奈良県・京都府)
3. 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための復旧活動の取り組み	国、府、水機構、市町村 (伊賀市・名張市・津市・宇陀市・南山城村・京都府)
【複合災害】	
1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み	国

H29取組内容 (ハード対策)

○服部川(三重県 伊賀市)の河道掘削を実施

課題対応 **S**

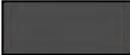
【平成29年度:近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、伊賀市三田地区等の河道掘削を実施。流下能力不足を解消していくとともに、上野遊水地及び今後整備される川上ダムの治水効果を最大限発揮できるようにしていく。

工事実施概要

実施箇所：三重県伊賀市 三田地区等
実施内容：河道掘削

凡例

平成28年度実施箇所 
平成29年度実施予定 



○名張川(三重県 名張市)の河道掘削を実施

課題対応 **S**

【平成29年度:近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、三重県名張市朝日町・南町地区の河道掘削を実施。流下能力不足を解消していく。

工事実施概要



○砂防堰堤(名張市)の整備を実施

【平成29年度:近畿地整】

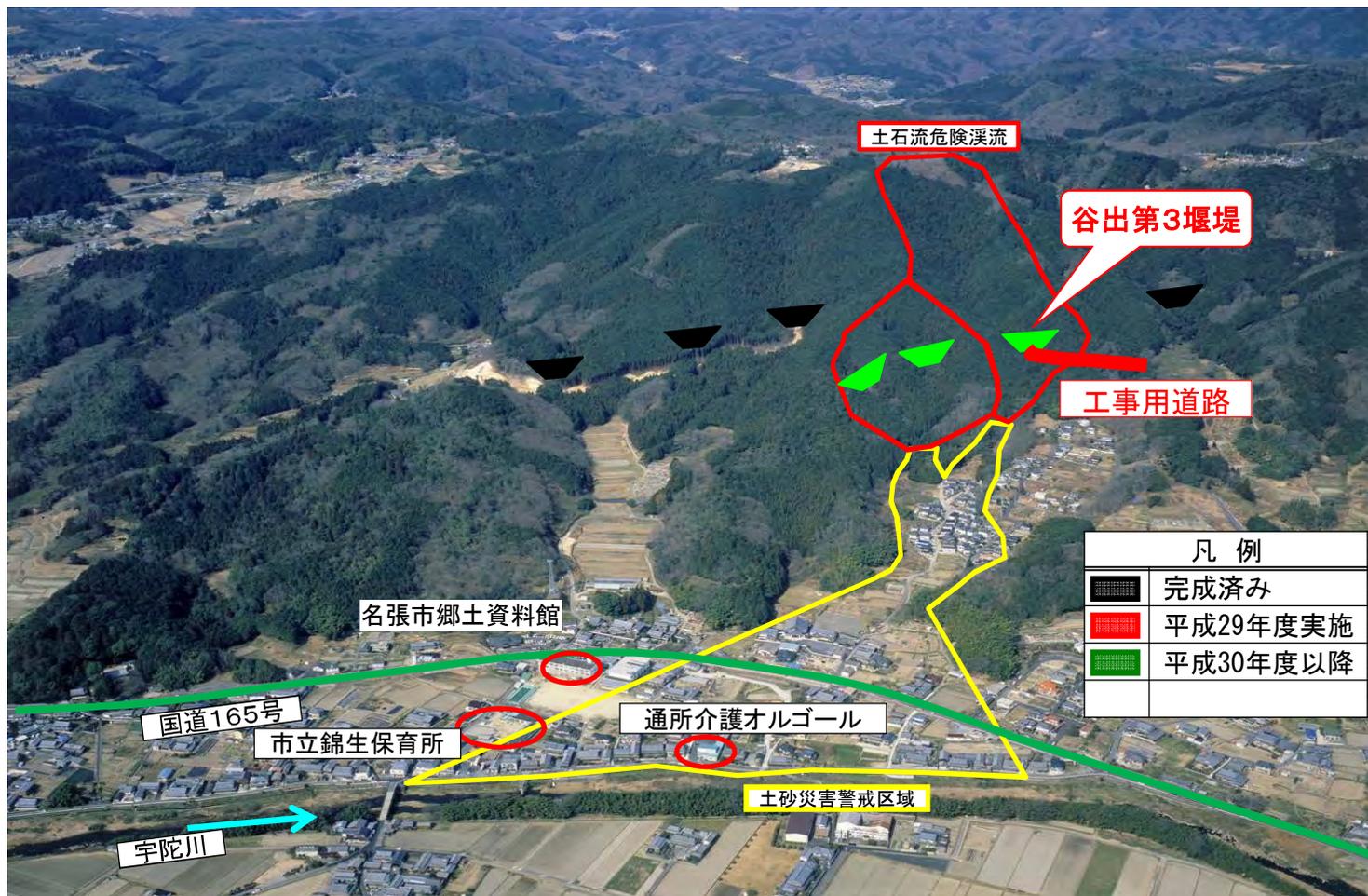
土石流危険箇所において、砂防堰堤の工事に着手予定。

工事実施概要

実施箇所：名張市安部田

実施内容：砂防堰堤

位置図



○砂防堰堤(宇陀市)の整備を実施

【平成29年度:近畿地整】

土石流危険箇所において、砂防堰堤の工事に着手予定。

工事実施概要

実施箇所：宇陀市室生大野

実施内容：砂防堰堤

位置図



凡例	
	完成済み
	平成29年度実施
	平成30年度以降

H29取組内容 (ソフト対策)

○想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表

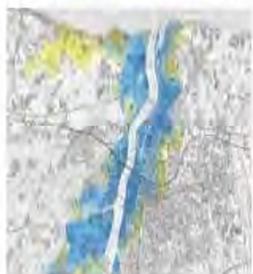
【平成29年度：近畿地整】

課題対応 **A**

平成27年水防法改正では、洪水浸水想定区域の前提となる降雨を、従前の河川整備の基本となる計画降雨から**想定最大規模の降雨に変更**。

【洪水浸水想定区域図】

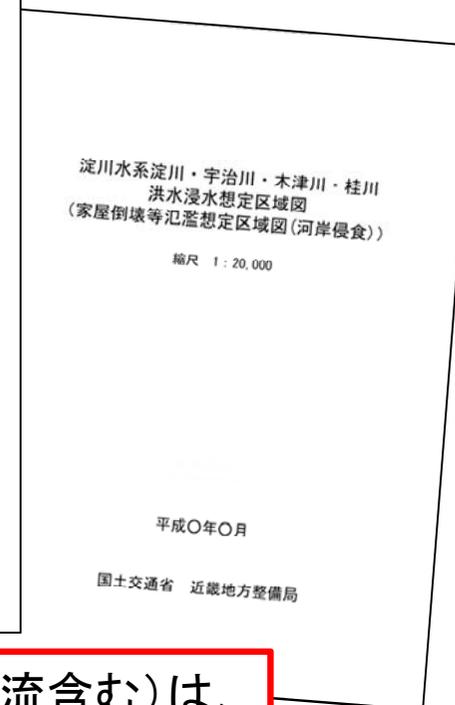
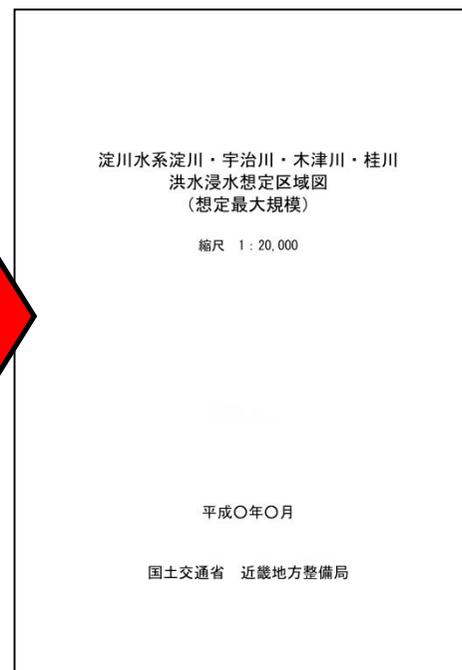
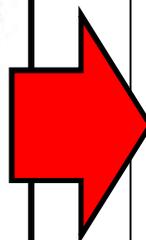
○**現行の洪水に係る浸水想定区域について、
想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表**
(現行は、河川整備において基本となる降雨を前提とした区域)



河川整備において基本となる降雨を前提



想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域



淀川水系(木津川上流含む)は、
平成29年6月公表予定

○新技術を活用した各種警報の改善、及び危険度分布の提供

課題対応 **E**

【平成29年度：気象庁】

雨による災害発生危険度の高まりを評価する技術（土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数）を活用して、大雨・洪水警報及び大雨特別警報を改善するとともに、「大雨警報（浸水害）の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供を開始。（H29年7月上旬予定）

雨によって引き起こされる災害発生危険度の高まりを評価する技術
（土壌雨量指数・表面雨量指数・流域雨量指数と危険度分布）

アメダスやレーダー等による雨量の観測や、雨量の予測に代えて、雨によって引き起こされる災害発生リスクの高まりを「指数」によって評価し、危険度を5段階に色分けして地図上に表示した「危険度分布」を提供。

雨によって災害のリスクが高まるメカニズムは以下の3つが考えられる。

左のメカニズムを「タンクモデル」で表現し、各々の災害リスクの高まりを「指数」化し、警報等の「基準」への到達状況に応じて色分け表示。



○緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を実施

課題対応

K

【平成29年度：近畿地整】

木津川、名張川の流域自治体（木津川：伊賀市・笠置町・南山城村、名張川：名張市・山添村・宇陀市）において、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」を活用した洪水情報のプッシュ型配信を平成29年6月より開始予定。（奈良市、和束町へも配信）

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、水害時に流域住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

○水害と土砂災害の複合災害を想定した防災マップ・タイムラインを作成

課題対応

X

【平成29年度：〇〇市、〇〇県、近畿地整】

地域住民、市、県合同による減災ワークショップを開催し、台風等による洪水と土砂災害に備え、住民主体による「防災マップづくり」と「大型台風を想定したタイムラインづくり」を実施。さらに、作成したタイムラインを基に避難訓練を実施する。

減災ワークショップ実施概要

対象地域：〇〇県〇〇市〇〇地区
 実施日：平成29年11月頃
 参加者：〇〇自治会
 〇〇市役所
 〇〇県
 紀伊山系砂防事務所

まち歩き点検の状況(イメージ)



まち歩き点検により自然災害に対するリスクや強みを把握。

防災マップによる危険箇所等の確認(イメージ)



防災マップを作成しながら危険箇所（リスク）等を確認。

議論の状況(イメージ)



現状の確認、想定される被害、実施すべき事項について、活発な議論を展開。

大規模台風に伴う豪雨時の行動(案) 榛原山路自治会



検討結果を整理してタイムラインを完成(イメージ)